

総選挙で平和勢力の前進を勝ち取ろう！

県平和委員会は9月7日、第2回理事会を31名の参加で開催しました（日本平和委員会から岩月事務局次長が参加されました）。秋の取り組みについては8月23日の第3回常任理事会で検討しましたが、9月1日に突如、福田首相が辞任し総選挙必至の秋の政局となりました。以下、主な討議事項について報告します。

1. 総選挙と平和委員会の役割

日常生活から平和と暮らし全ての問題は政治によって決まります。憲法・基地・自衛隊・軍事費・安保等々、政治が変わらなければ何ひとつ前進的解決はありません。平和委員会が政治的無関心では平和は守れません。平和委員会にはいろいろな立場や考え方の人がいます。それぞれの立場で平和政治勢力が総選挙で躍進するよう頑張りましょう。

2. 全県宣伝行動について

総選挙情勢を踏まえて各ブロックで早めにするようにします。理事会後、県北・県南1・県央3つのブロックが会議を開き宣伝行動を決めました。鹿行は既に決めていました。チラシ・テープは宣伝委員会・事務局でつくります。

★県南ブロック：9月22～26日

県平和委員会宣伝カー

石岡：9月22～23日

土浦：24～25日 阿見：26日

★鹿行ブロック：9月27～10月4日

鹿行民商・潮来市職の宣伝カー

鹿嶋地域と行方地域にわけ、期間内にそれぞれの市町村の宣伝行動及び担当者を決め実施。

★県北ブロック：9月27～10月12日

県平和委員会の宣伝カー

各市町村の宣伝は各平和委員会と常任理事が中心になって具体化する。

★県央ブロック：9月21～27日

宣伝カーを借りる手立てをする。

14日に会議をもって具体化する。

★その他、県南2（取手・守谷中心）や県西ブロックについては実施時期や体制を早急に検討してもらいます。

3. 秋の市民集会（11月3日予定）については「実行委員会」事務局では話し合いを進めていますが、総選挙がらみでどうするかは、18日に開かれる米軍機くるな茨城実行委員会を開催して決めていきます。

4. 新聞意見広告掲載の取り組み

例年どおり、12月8日（アジア・太平洋戦争勃発日）に実施します。昨年の掲載紙は読売でしたが、今年は朝日新聞とします。内容については、軍事費削減・憲法・安保等を宣伝委員会・事務局で検討します。

目標は団体賛同（1口・3000円）100口。個人賛同（1口・1000円）1300口を目標とします。選挙期間中を重なる事が予想されるので早めに準備を整えます。

5. 仲間づくり（かわら版前号掲載）

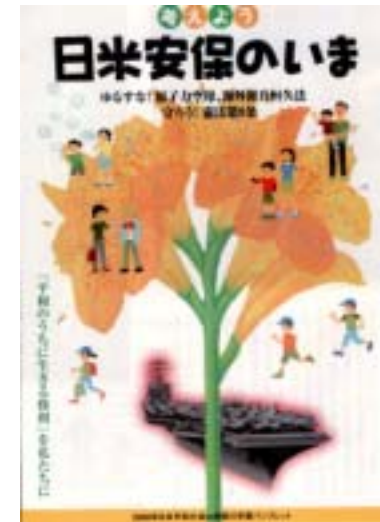
8月の常任理事会どおり自らの組織的力量と運動を「前進させるも後退させるも」各平和委員会の取り組みにかかっている事をお互いに理解し、12月までに各平和委員会が2～5名以上の仲間を実現していく。

● 以上の秋の取り組みは総選挙と重なるため代表理事・事務局長が状況判断し幅をもって取り組みます。

以上



今平和を守る一番のパンフです
地域・職場で学習を広げましょう



憲法の「平和のうちに生きる権利」を侵害する原子力空母配備や米軍基地強化、海外派兵問題、その背景にある日米軍事同盟強化の問題を、具体的にわかりやすく解説。今平和を守る運動が国内外で広がっていることを生き生きと紹介。2008年日本平和大会学習パンフレットを是非お読みください。頒価200円。注文を受け付けます。

平和の願いもちより、 08年日本平和大会 in 神奈川へ

11月14日(金) - 16(日)

主な日程

- 開会総会：14日6:30～/川崎教育文化会館・基地被害の訴え、戦争の実相の告発・全国の平和を求める運動が大交流
- 分科会・シンポ：15日10:00/横浜を中心に・イラク、アフガン、海外派兵、憲法暮らし、平和なアジア・・・
- 動く分科会：は座間・相模原、横須賀基地、厚木基地、ノースドック・池子基地の4コース。
- 青年集会：15日夜、●閉会総会16日(日)午前/横須賀市文化会館、●終了後/横須賀行動

平和かわら版

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

No.511
月3回発行
2008.9.15



百里基地ほくほく、県民にのしかかる経費負担

—百里基地民間共用化学習交流会 報告—

県事務局 荻谷 哲生

百里基地民間共用化の問題について、去る8月20日、日本共産党茨城県議団主催の「“茨城空港”問題学習交流会」に参加しました。茨城空港というのは愛称で、百里飛行場というのが正式な名称だとのこと。

まず、大内久美子県議から報告がありました。まず、年間81万人という需要予測は、大阪への年間5万人の飛行機利用者が茨城空港の開港で3倍の17万人に増えるといった根拠の無いもので、「全くのデタラメ」と批判しました。また、「県の負担は80億円で済むからお得」という県の宣伝に対しても、それは滑走路などの本体工事の県負担分だけの話で、滑走路工事以外の用地取得やアクセス道路の整備、ターミナルビル建設への無利子貸与を含めると総事業費は549億円にも及び、当然、県の支出も80億円では到底済まされないと指摘。しかも、県議会で自民党から、一定の搭乗率に達しない場合に税金で航空会社に欠損金を支払う搭乗率補償の導入まで要求されていることも報告されました。さらには、これまで基地反対運動によって滑走路が「くの字」に曲がった欠陥基地であったのが、新滑走路が平行誘導路となって補完されてしまう事、しかも従来の滑走路を補修工事する為、最初の一年は自衛隊とアメリカ軍が専用で使用する事など、基地機能強化という危険な問題も指摘されました。

続いて、塩川てつや衆院議員から地方空港の現状と問題が報告されました。全国の地方空港の8割近くが赤字のなかで、空港維持費は設置者の国の負担であっても、需要確保のための様々な助成による多額の財政支出を、県ばかりか地元自治体でも余儀なくされているという実態が浮き彫りに。そのうえで、国の責任(無責任)として4つの問題点が指摘されました。

①根拠の無い需要予測： 予測に対して5割しかなかった空港もある。設置者の国が予測、実際に飛ばすかどうかは航空会社次第。いまだに就航予定が1社も無い。なんと塩川議員の地元、埼玉県の所沢市までが需要の見込める地域に入っているというデタラメぶり。

②過剰な空港設置： すでに国の方針では、新しく空港は作ら

ないことを基本に、大都市圏拠点空港の整備に重点化していく方向にある。成田や羽田は拡張が計画されているし、首都圏第3の拠点空港の話まである。「茨城空港の後に計画なし。時代により遅れた1周遅れの最終ランナー」。

③規制緩和のひずみ： 規制緩和による原則自由化、競争の激化によって、航空会社は公共性ではなく利益優先になり、不採算路線は相次いで撤退。お隣の福島空港では、05年に6つの路線があったのが、08年には2つに減ってしまった。

④危険な空港： 空域が成田や羽田の管制空域と重複して非常に混雑した空域。さらに近くに原子力施設や鹿島コンビナートなどの上空飛行制限のかかる施設が集中していて、民間機を飛ばすには危険な地域。さらには、自衛隊の滑走路からの間隔は210mしかなく、国の基準の300mすら満たしていないうえ、ILS(計器着陸装置)が設置できないため天候の悪い日は使用さえできない。自衛隊との共用飛行場でも、新たに滑走路が敷かれるのは外に例が無く、自衛隊・米軍の為の新レーン、基地機能の強化となる。

以上4点は国の責任が問われる問題であり、国に中止を求めていくと強調されました。

参加者からも活発に発言がありました。地元の小美玉市で基地反対運動に取り組まれている方からは、現在の百里での工事の様子がリアルに報告されました。また、かつて反対闘争に参加した頃の思い出を語る方や、この百里基地の民間共用化に地元選挙区の額賀福士郎元財務相の強い関与を指摘する発言もありました。

元々が自衛隊の基地であり、新たに沖縄から米軍が訓練場として移転してくるこの“茨城空港”、「民間機が飛ばなければ自衛隊が滑走路を占有できる」と考えられているのは明らかではないでしょうか。民間共用化の名の下に多額の税金を注ぎ込んでの基地機能の強化、米軍も加わった訓練回数増加による騒音や墜落事故の危険の増大はとてども許されるものではありません。

イベントのお知らせ

人気沸騰！話題騒然！小林多喜二、不朽の名作

映画「蟹工船」リバイバル公開決定

原作 小林 多喜二 監督 脚本 山村 聡

幹旋屋のピンハネ、非人間的な労働、モノ扱いされる労働者。現代に通ずる「ワーキングプア・格差社会」がここにあった。

茨城県リバイバル上映決定！！

08年10月6日(月) ①14:30～ ②19:00～

県民文化センター小ホール

前売り 一般¥1,000 学生・高校生¥700

当日 一般¥1,200 学生・高校生¥800

主催/映画「蟹工船」を上映する会

お問合せ/Tel029-226-3156(茨城映画センター内)

憲法を守り生かす茨城ネットワーク第16回学習会のお知らせ

現代の貧困と憲法(仮)

講師 宇都宮 健児氏(弁護士)

日時 11月16日(日) 午後1時30分から

会場 県民文化センター別館 集会室10

テレビ・雑誌・新聞等でおなじみのたたかう弁護士。クシ・サラ、多重債務問題に30年以上取り組み、反貧困ネットワークの代表として、現在全国キャラバンを展開中。「生存権」がかつてない危機にさらされている今、憲法を生かすたたかひを語る・・・

事務局便り

水戸で開かれた県28回革新懇総会記念講演会に参加しました。全国革新懇代表世話人の畑田重男さん、85歳の元気なお話。軍事力と平和力、地球全体を見れば軍事同盟は衰退し、地域共同体、非同盟運動、南米、EUなどの平和力が勝りつつあると。何時までも何時でも学習が大切と。元氣な語り口に感激。負けないで学習をと肝に命じた。(加)